

通常砂防事業

砂防河川 白狐川^{びゃつこ}

(富津市)

河川整備課

1 白狐川の概要

1) 位置と流域



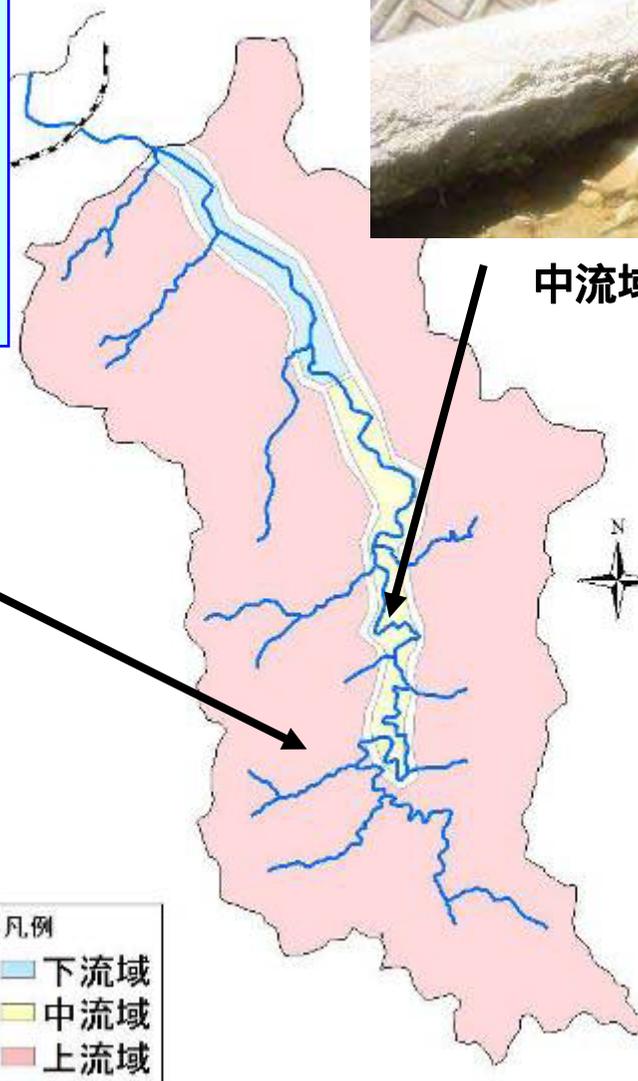
数値地図200000（国土地理院）の「横須賀」を掲載

2) 流域の状況

- 極めて急勾配な上流域では
土砂生産、土砂流出
- 急勾配な本川中流では
河床洗掘による河床低下
- 緩勾配の本川下流では
土砂堆積による河床上昇



上流域の山腹崩壊



中流域の河床低下



3) 砂防施設の役割



砂防えん堤



床固工



流路工

4) 事業の目的

本川河道に床固工、流路工を配置し、
溪岸崩壊・侵食を抑制する。

上流域に砂防えん堤を配置し、
洪水時の土砂流出を抑制する。

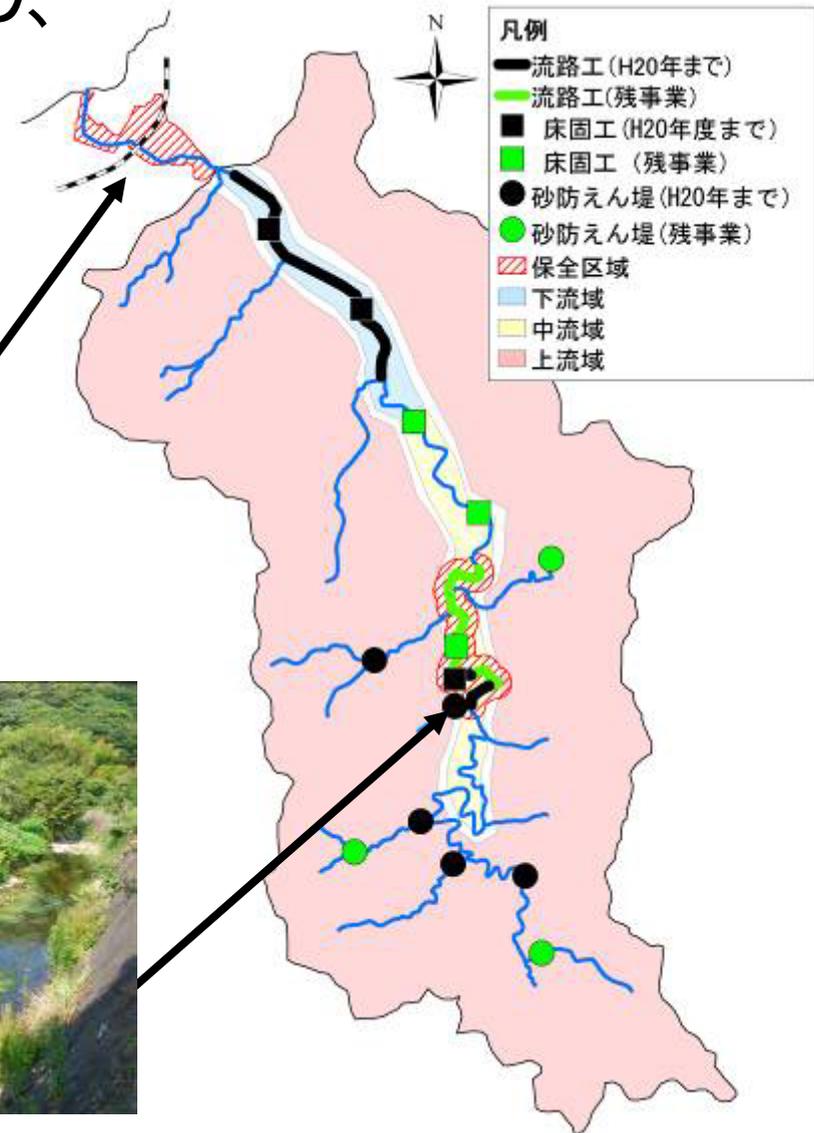
人家・学校・鉄道・道路などを
保全する。



JR内房線

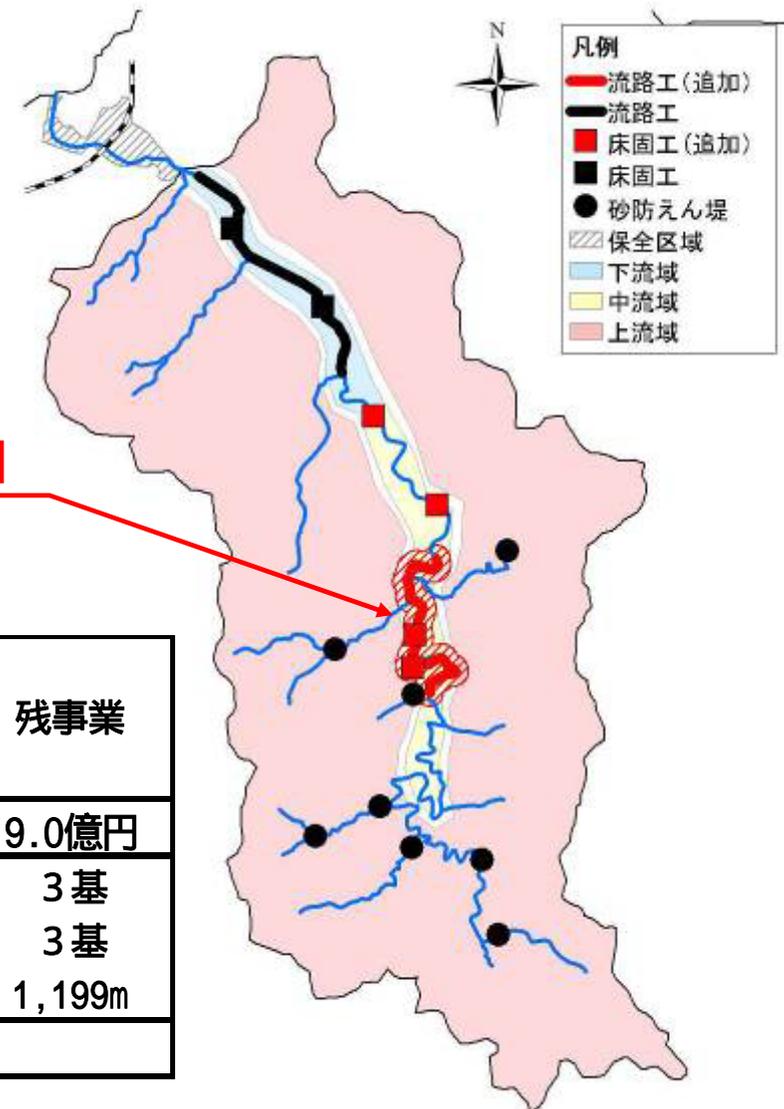


人家



2 白狐川の全体計画について

- 全体計画
 - ◆ 砂防えん堤 8 基、 床固工 6 基、
流路工2,674m
- 主な保全対象
 - ◆ 人家 6 1 戸、学校、 J R 内房線、
国道 1 2 7 号など



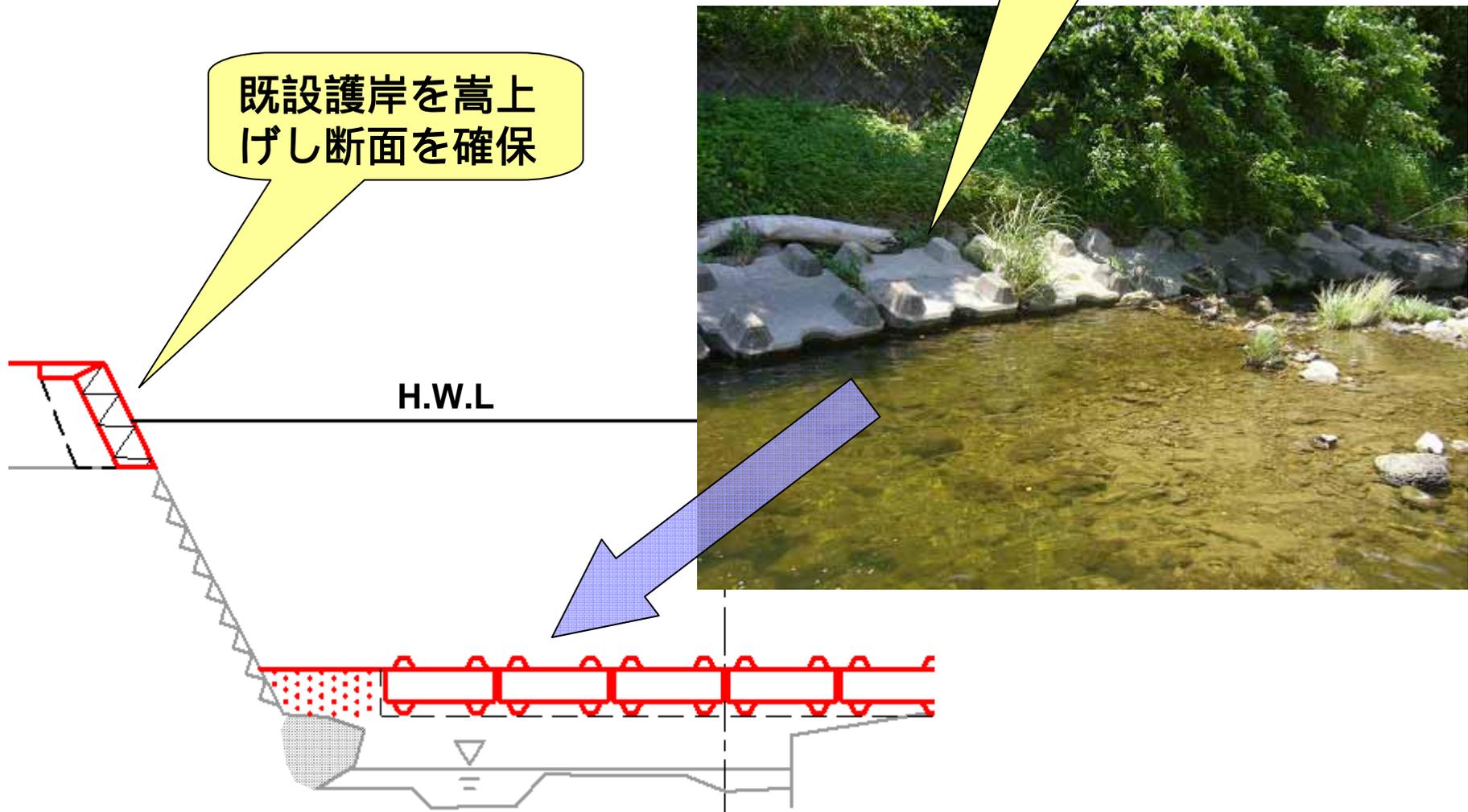
中流域を追加

	全体計画	平成19年度 まで実績	平成20年度	残事業
事業費	35.2億円	25.4億円	26.2億円	9.0億円
事業内容				
砂防えん堤	8 基	5 基	5 基	3 基
床固工	6 基	3 基	3 基	3 基
流路工	2,674m	1,295m	1,475m	1,199m
事業進捗率	...	72.2%	74.4%	

3 コスト縮減策

既設護岸を嵩上げし断面を確保

既設ブロックを再配置し再利用



4 環境への配慮

- 生物への配慮

本川河道にウグイ、オイカワ、ヨシノボリなどの魚類が生息

床固工に魚道を設置し、
水みちの連続性を確保





5 事業の投資効果

1) 直接被害に対する効果

評価対象とする便益について

- 人家61戸に対する被害軽減効果
- 耕地9.3haに対する被害軽減効果
- 公共土木施設の道路、鉄道に対する被害軽減効果
- 公共施設の学校、公民館に対する被害軽減効果
- 人命を保護する効果

2) 費用対効果について

事業年度			
事業化年度	平成6年度	工事着手年度	平成6年
用地着手年度	平成7年度	工事終了年度	平成28年

評価基準					
基準年	平成20年度	事業投資年数	23年	評価対象期間	50年

便益	
年平均便益	3.1億円
現在価値化した便益総和(B)	50.9億円

費用	
事業費合計	35.2億円
現在価値化した事業費総和(C)	43.1億円

費用便益比	
B / C	1.18

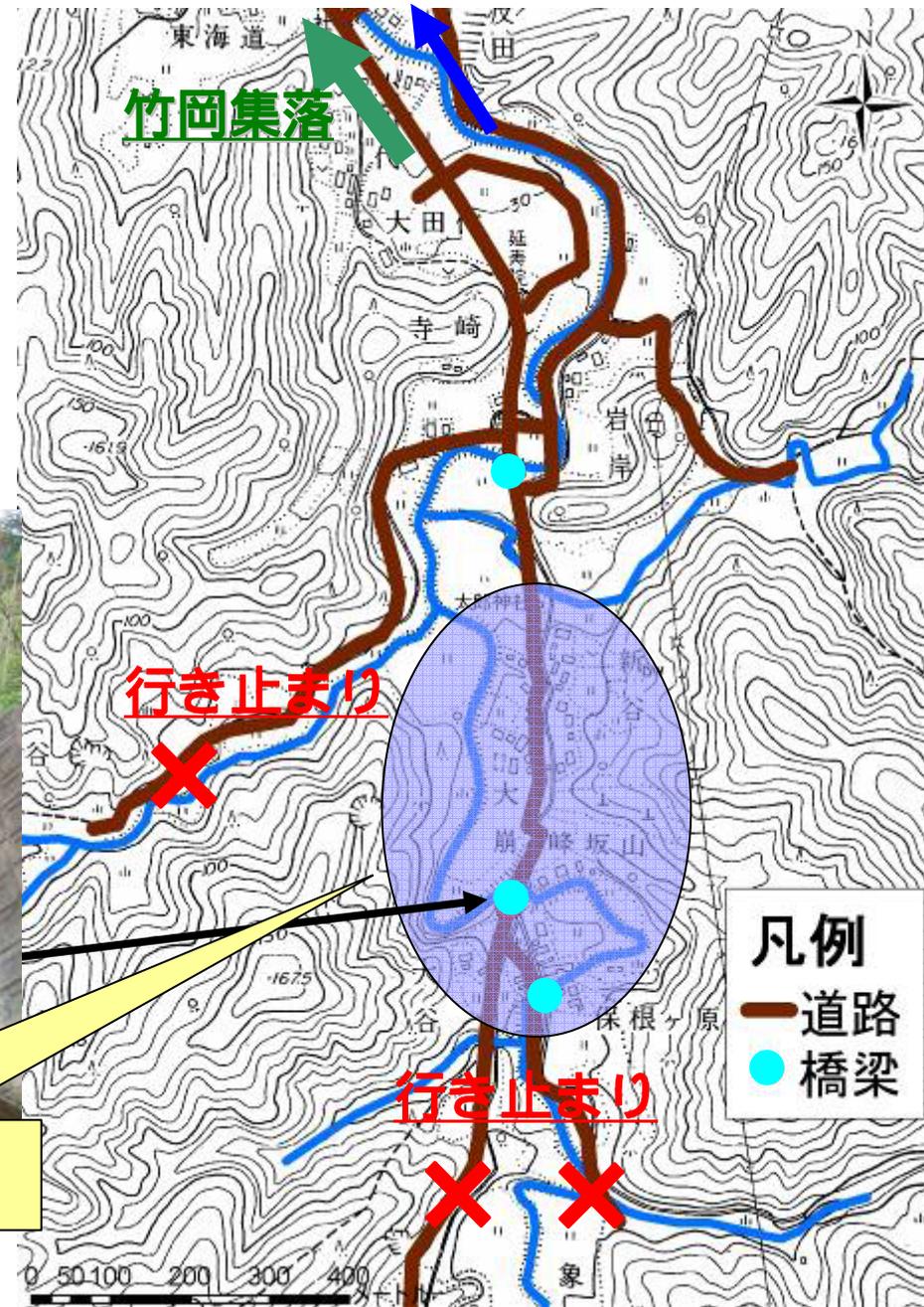
3) 間接被害に対する効果

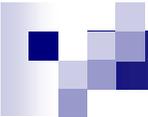
集落の孤立化解消!

橋梁への被害により集落の孤立化



孤立化となる集落





6 対応方針（案）

- 平成20年度末時点で事業進捗率は74.4%であるが、**土砂災害に対する安全性が未確保**となっている。
- **コスト縮減策への配慮**を行っている。
- 今後は、残りの砂防えん堤工・床固工・流路工を整備し、土砂災害に対する安全性を確保するため、早期完成を目指し**事業継続**としたい。